

大京都 2020 in 亀岡 移動する有体

開催日

2020年3月13日[金]ー15日[日] /
20日[金・祝]ー22日[日] ※金・土・日のみ

時間 〈一日2回の限定公開※要事前申込み〉
第一便 午前7時 第二便 午後2時

作品鑑賞には交通費(実費)が必要となります

大人 約5,000円/小人 約3,000円
定員24名/先着予約順/所要5時間程度

集合場所

亀岡駅改札前

会場

保津橋高架下/鵜飼橋/
亀岡市文化資料館/南郷池 ほか

参加アーティスト

身体0ベース 運用法 Shintai o Base Unyoho	上川 桂南恵 KAMIKAWA Kanae
小野 峰靖 ONO Takayasu	倉科 明尚 KURASHINA Akinao
上岡 安里 KAMIOKA Asato	武田 萌花 TAKEDA Moka
	中谷 優希 NAKAYA Yuuki

ゲストアーティスト/ 展覧会ディレクション

目[mé]

ご注意

□都合により、公開時間に変更が生じる場合がございます。
□荒天時、作品鑑賞が中止となる場合があります。
□動きやすく暖かい格好でお越し下さい。

問合せ先

京都:Re-Search実行委員会 事務局
〒602-8570 京都市上京区
下立売通新町西入藪ノ内町
京都府文化スポーツ部文化芸術課内
電話番号 075-414-4279
Eメール bungei@pref.kyoto.lg.jp
発表期間内のパフォーマンス、イベントなどの
開催場所・時間・参加費・申し込み方法は
公式サイトなどで随時発表していきます。
公式ウェブサイト | facebook.com/
kyoto-research.com | air.kyoto.re.search

大京都 2020 in 亀岡 Great Kyoto 2020 in Kameoka

京都府では、アーティストが地域に滞在し創作活動を行うことで地域住民に幅広い文化芸術に触れる機会を提供し、地域の活性化へと繋げる取り組みとしてアーティスト・イン・レジデンス事業を実施しています。亀岡市では、2018年度に滞在制作のためのリサーチ「京都:Re-Search 2018 in 亀岡」を行いました。今年度はそのリサーチをもとに、アーティストが地域の新しいアートドキュメント(=記録)を作成する『大京都 2020 in 亀岡』を開催します。『京都:Re-Search 2018 in 亀岡』で参加アーティストと共に亀岡をリサーチした目[mé]をゲストアーティスト/展覧会ディレクターとして迎え、選抜された7名のアーティストと共にその成果を亀岡市内各所で発表します。

移動する有体

私たちはこの世界を常に移動している。椅子に座っている時も、寝ている間も、留まることなく私という微細な有機物は、さっきまでいた位置から次の位置へと移動をし続けている。場所の本来性というものもこれと同じように、歴史的着地点とはまるで無縁なまでに、どこからかやってきてまたこの地を去って行く。そんな、どこか引き裂かれてしまいそうな過ぎ去ってしまう行為と引き換えに「みる」という行為はある。移動する導線の中で、この地や環境をこうでなくともよかったはずの生々しい結果として受け入れてみたい。アーティストたちは、既存の本来性にとらわれることなく、この拮抗の空間を渡ってきた。ともすれば何事にも成らずに消えてしまうリアリティの中で「逆さの必然」として、この場所をみることができたと思う。

目[mé]

展覧会ディレクション/ゲストアーティスト

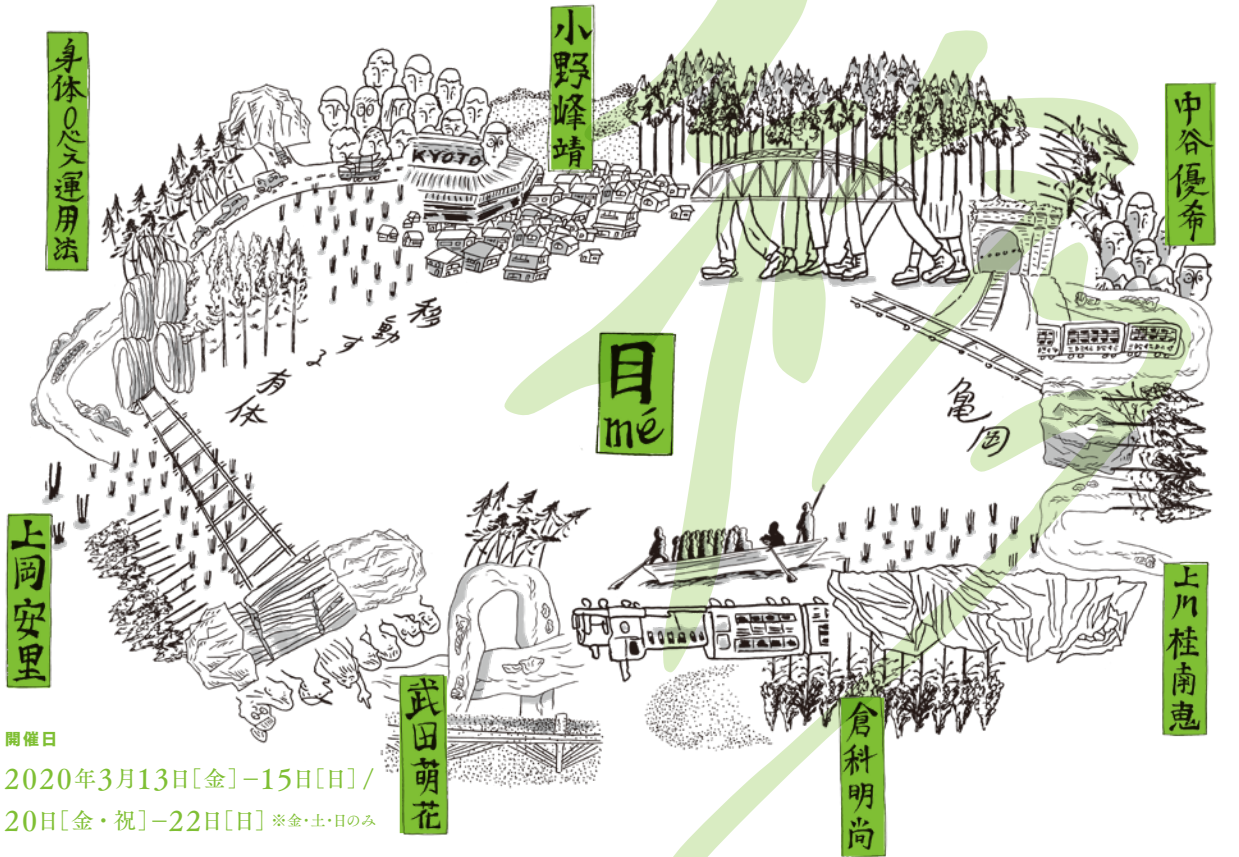
アーティスト・イン・レジデンス事業・展覧会
京都:Re-Search
公式ウェブサイト:kyoto-research.com

【アーティスト・イン・レジデンスとは】
芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のこと。日本国内ではアーティストの育成や支援だけでなく、空き家・商店街の空店舗を活用した地域振興や人の交流による地域活性化の手段として用いられている。

主催= 京都:Re-Search実行委員会(京都府、亀岡市ほか)
協力= 亀岡市財産区管理会/ 亀岡市商工会議所/亀岡市文化資料館/嵯峨野観光鉄道株式会社/篠町土地改良区/保津川遊船企業組合/Farmhouse NaNa/NPO法人チョロギ村



平成31年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業



開催日
2020年3月13日[金]ー15日[日] /
20日[金・祝]ー22日[日] ※金・土・日のみ
時間 〈一日2回の限定公開〉
第一便 午前7時 第二便 午後2時

目

[me]

現代アートチーム



果てしなく不確かな現実世界を、私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、現在の中心メンバー（アーティスト荒神明香、ディレクター南川憲二、インストーラー増井宏文）の個々の特徴を活かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。主な活動に、たよりない現実この世界の在りか／資生堂ギャラリー／東京、おじさんの顔が空に浮かぶ日／宇都宮美術館館外プロジェクト2014、Elemental Detection／さいたまトリエンナーレ2016、repetition window／Reborn-Art Festival／石巻、などがある。

身体0ベース運用法

Shintai 0 Base Unyoho
アーティスト
[大阪府]



2009年京都市立芸術大学染織専攻修士課程修了。2016年より、作品の制作を通じて得た身体感覚や思想を発展させ、身体の使用方をゼロから見直すための実践《身体0ベース運用法》を考案、体験型インスタレーションの制作、発表やワークショップなどをおこなっている。

《物流する身体ー大堰川編》

01. 〈OGYMー点と円の運動方程式〉
会場= 保津川下り乗船場
02. 〈0的身体歴史学〉
会場= 亀岡市文化資料館

【別途作品公開期間】-----
3月13日(金)ー3月22日(日)
1日2回の限定公開時に加え、別途作品公開期間がございます。
01.9:00ー18:00 / 02.9:00ー16:30
入場料=02. 大人260円 / 小人150円(月曜休)

小野峰靖

ONO Takayasu



アーティスト
[大分県]

今日の自分が何を忘れて、これから何を忘れるのか把握できない境遇において、目の前の情景を無責任に物質化できる写真の機能を「忘失のメディア」とみなして取り扱っている。

《平和池は今日で忘れる》

会場= 自宅
〒621-0823 亀岡市
篠町馬堀池ノ下8-1
山田ハイツ3号室

【別途作品公開期間】-----
3月7日(土)ー3月22日(日)
1日2回の限定公開時に加え、別途作品公開期間がございます。
会場= 自宅
時間= 10:00ー17:00

上岡 安里

KAMIOKA Asato

金沢美術工芸大学
美術工芸研究科
修士課程 在籍 [石川県]



“今” 自分自身の目の前でみているものの真偽がわからなくなることがあるだろう。ホントなのかうソなのかわからず戸惑う。実感を疑い実感から身体性を伴う実体感に繋げることが大事だと思い制作している。

《returnー人の気配が薄い場所との対峙から》

会場= 鶴岡橋ほか
日程= 3月13日(金)ー15日(日)
20日(金・祝)ー22日(日)
1日2回の限定公開時に発表

上川 桂南恵

KAMIKAWA Kanae

東京藝術大学美術学部
先端芸術表現科 在籍
[熊本県]



私にとって、絵を描くキャンパスの布や絵を描くことができるものすべては素材であり、それらは無表情なので、記号化されたマスコットキャラクターのように親しみやすく感じる。私はそれらに執着や魂を込めることでその素材の存在を確かめると同時に、その存在に自分自身の憧れを託している。

《ラブラブ亀ハウス》

会場= 南郷池
【別途作品公開期間】-----
3月7日(土)ー3月22日(日)
1日2回の限定公開時に加え、別途作品公開期間がございます。
会場= 南郷池 時間=9:00ー18:00

倉科 明尚

KURASHINA Akinao

東京藝術大学美術学部
先端芸術表現科 在籍
[東京都]



ドローイングを主体とした作品を制作している。最近はロトスコープの手法を使って押さないに進まないアニメーションに取り組んでいる。世界中でどうしようもないことが絶え間なく起きている。解決できないけれども何か言わないといけないという僕のフラストレーションが制作の動機になっている。

《もういっぱいいっぱい》

会場= JR亀岡駅、JR馬堀駅付近
日程= 3月13日(金)ー15日(日)
20日(金・祝)ー22日(日)
1日2回の限定公開時に発表

武田 萌花

TAKEDA Moka

東京藝術大学美術学部
先端芸術表現科 在籍
[東京都]



「都市と風景」をキーワードに、映像を用いたインスタレーション作品を制作している。京都Re:Searchでは、アーティストそれぞれの視点や地域とアートの関係性、アーティスト・イン・レジデンスという構造をどこまで刺激的に拡張出来るかという所に関心があり、メディアム(媒介者)のような立ち位置を模索している。

《寄り道》

会場= JR馬堀駅付近のトンネルほか
【別途作品公開期間】-----
2020年3月7日(土)ー3月22日(日)
1日2回の限定公開時に加え、別途作品公開期間がございます。
時間=9:00ー18:00

中谷 優希

NAKAYA Yuuki

東京藝術大学美術学部
先端芸術表現科 在籍
[北海道]



人は生身では宇宙空間で生きることができません。しかし宇宙服に包まれることによって、宇宙に存在することができます。宇宙服のようなこの効果を「包むこと」から「Packing」と呼んでいます。「Packing」とは「そのままの状態ではある場所に存在できないものを、そこに存在させるためのツール」です。「Packing」=存在するための方法を用いて、わたしはここ亀岡に居るための方法を模索します。

《Packing - alien》

会場= 嵯峨野観光鉄道列車内ほか
日程= 3月13日(金)ー15日(日)
20日(金・祝)ー22日(日)
1日2回の限定公開時に発表

問合せ先

京都: Re-Search実行委員会 事務局
〒602-8570 京都市上京区
下立売通新町西入数ノ内町
京都府文化スポーツ部文化芸術課内

電話番号 075-414-4279
Eメール bungei@pref.kyoto.lg.jp
発表期間内のパフォーマンス、イベントなどの開催場所・時間・参加費・申し込み方法は公式サイトなどで随時発表していきます。

公式ウェブサイト
kyoto-research.com

FACEBOOK
facebook.com/
air.kyoto.re.search

会期中プログラム

『クロージングトーク』 3月22日(日) トークゲスト: 目、参加アーティスト
※参加無料、詳細はWEBサイトでお知らせします kyoto-research.com

お申込み方法

以下の項目を記載の上、右記のメールアドレスにお申込みください。

件名:「大京都2020 in 亀岡」

- ① 希望日時と時間(例: 3月13日(金) 7:00~)
② 氏名(ふりがな) ③ 所属 ④ 年齢
⑤ 当日連絡がつく電話番号 ⑥ メールアドレス

bungei@pref.kyoto.lg.jp

締め切り

2020年3月6日(金) 17時まで

定員に達し次第受付を終了させていただきます場合もございます。

【ご注意】開始時間は会場の都合により、多少変更が生じる場合がございます。参加くださる方は必ず事前に主催者からお送りするお知らせメールをご確認の上、ご参加ください。

亀岡までのアクセス

電車でお越しの方

JR京都 山陰本線(嵯峨野線) 快速ー約20分 JR亀岡

バスでお越しの方

JR京都 京阪京都交通ー約40分 JR
阪急桂 京阪京都交通ー約60分 亀岡

お車でお越しの方

京都 国道9号を西にー約40分 亀岡
香摺IC 京都縦貫自動車道経由ー約25分
大阪 京都縦貫自動車道経由ー約90分